

ニューズレター

第2号

発行日 2019年2月10日



院内の紹介コーナー

②診療室の照明

当院の診療室は全部で4部屋あり
待合室の奥とキッズスペースの天井
に大きな球体の照明があります。普段
は電球色で部屋を照らしていますが、
たまに照明の色が変わるのをご存知
でしょうか？

この照明、オーデリックという照明
メーカーの商品で赤、青、緑などの基
本的な色はもちろん、グラデーション
が可能で好みの色に変えることが可
能です。冬場は暖色系、夏場は寒色
系というように色を変えてみたり、ハロ
ウィンにはオレンジ、クリスマスは赤や緑
といった具合に変えています。

また、常に色が変わるようにループ
させる機能もあります。リモコンのボタ
ンを押すだけで簡単に色を切り替える
ことができ、明るさの調整などもでき
ます。

さらに3つある電球の色を全て揃え
たり、逆に全て違う色にすることも可
能です。小児歯科に力を入れているクリ
ニックなので、少しでも院内の雰囲気
を楽しくしようということでこの照明を
選びました。最近、梅酒に入っている
梅のような色になっているのを見つけ
て思わず写真を撮ってしまいました。



今年は例年に比べインフルエンザの流行が
早いようですが、皆様は大丈夫でしょうか？
予防のためのうがいの際は、喉だけではなく口
の中もきれいにすることを心がけてください。

目次

院内の紹介 コーナー

今回は
待合室の照明につい
てです。

院長のコラム

[裏面]
今回は
手洗い・手指衛生に
ついてです。

今月の おすすめ商品

[裏面]
今回は
こども用の歯磨剤です。



手モデルは院長です。



診療室内の手洗い場



上:待合室の洗面所
下:トイレ内

手洗い・手指衛生について

今回は手洗い・手指衛生についてです。風邪やインフルエンザが流行る今の時期は、予防のためにうがいとともに手洗いをするように心がけている方が多いと思いますが、医療機関では季節を問わず、それ自体が医療行為となっています。特に歯科の現場では仕事の性質上手を洗う頻度が多く、私も多いときで1日に100回近く洗っています。

なぜ、そこまで回数が多いかというと歯科では、患者さんの口の中を手で触らなければならないからです。当然患者さんごとにグローブを換えています。グローブだけ交換していても感染対策にはなりません。手を洗っていない状態でグローブを装着するとグローブを汚染させてしまいますし、口の中に触れたグローブを外す際は手が汚染します。また、処置中は手に汗をかいたため、グローブの内側で細菌が繁殖していたり、ピンホールという小さな穴が空くことがあります。それにより処置中に手が汚染していることが

あります。そのため、グローブを装着する前と外した後には必ず手を洗います。患者さんの感染予防のためだけでなく、医療従事者の安全のためでもあります。手を洗う頻度は、最低でも1日の患者さんの人数×2ということになりますが、実際には同時に数人の患者さんを診ているため、処置の途中で他の患者さんのところに行く度にグローブを外して、手を洗い、新しいグローブを装着しているため、1人の患者さんを処置している間に4～6回洗っていることとなります。このように忙しくなればなるほど、手を洗う回数は増えるはずですが、手指衛生はどの医療機関においてもきっちり守られているとはいえないのが現状です。なので当院の診療室、消毒室ではあえて患者さんから見るところに手洗い場を設けています。また、医療従事者だけでなく患者さんにも手指衛生を徹底していただきたく、待合室の洗面所とトイレ内それぞれで手を洗えるようしております。

今月のおすすめ商品

フッ化物配合ハミガキ剤

Check-Up kodomo (LION) ¥250



お子様に好まれる3つの香味とかわいいキャラクターの商品です。フッ素滞留性を高めた独自の新処方で、フッ素がお口の中のすみずみまで広がりやすいソフトペーストです。また、歯や歯ぐきにやさしい低研磨性で、泡立ちも少ないので少量の水での洗口により、フッ素がお口の中に残りやすく虫歯の予防効果が期待できます。